

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	国民健康保険医療費分析及び保健事業			
担当部署・課長名	保険年金	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 5	-
【施策名】 社会保障の充実	総合計画書 (ページ)	63	

予算名	款 8 保健事業費	項 2 保健事業費	目 1 保健衛生費	事業 1 保健衛生諸費
-----	-----------	-----------	-----------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市国民健康保険被保険者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 東大和市国民健康保険被保険者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 疾病の早期発見、早期治療により重症化を防止し、被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を図る	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 医療費削減効果額(ジェネリック医薬品差額通知のみ)
	③ そのために何をしましたか。 レセプトデータ及び特定健康診査データを活用した医療費分析を行い、①ジェネリック医薬品利用促進通知の発送②糖尿病等重症化予防プログラム事業③プログラム終了者へ電話によるフォロー④医療機関への受診勧奨通知の発送⑤保健師・看護師による家庭訪問相談以上4つの保健事業を行った。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①発送件数 ②プログラム終了者数 ③電話によるフォロー者数 ④発送件数 ⑤訪問参加者数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	22,108	20,643	19,512	
	成果指標	②の数値	千円	77,848	98,259	102,373	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値		①6,310②5 ③31④159 ⑤21	①6,213②7 ③22④174 ⑤18	①4,737②20 ③16④135 ⑤17	

3 経費	事業費(実績)		円	11,314,943	9,505,000	10,390,267	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	5,567,943	0	0	
		特定財源	円	5,747,000	9,505,000	10,390,267	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	19,581,943	17,758,000	18,634,267		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成25年度より被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を目的として始めた。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成30年3月に保健事業実施計画である「第2期データヘルス計画」を策定し、実施している。

仕 事 の 内 容	国民健康保険医療費分析及び保健事業			
担当部署・課長名	保険年金	課	国民健康保険給付	係 課長名 岩野 秀夫

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	東京都で東大和市が初めての取り組んだ事業のため評価を得ている。この事業をはじめて6年目になるのでさらなる事業効果について求められている。			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	被保険者が事業へ参加することにより事業効果があげられるものである。年々参加者数が減少傾向にあるため参加者の確保が重要となってくる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	参加者数を増やすため、通知物の内容を分かりやすい表現になるよう見直した。			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	今後、年を重ねるごとにデータがそろってくるので、削減効果、医療費分析を見て検討をし新たな事業への展開。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	被保険者が事業へ参加することにより事業効果があげられるものである。年々参加者数が減少傾向にあるため参加者の確保が重要となってくる。			
今 後 の 方 向 性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	今後も、年を重ねるごとにデータがそろってくるため、削減効果、医療費分析を見た、新たな事業への展開と、既存事業の見直しが必要。			
	(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。